

平成22年度釧路支庁「地域政策推進事業」予定事業一覧

(単位：千円)

事業名	事業概要	予算額	備考 (連絡先)
エゾシカ個体数の減少に向けたボランティアハンター登録活用モデル・資源有効活用事業	<p>(目的) エゾシカの個体数の減少を図るため、新たな捕獲対策をモデル実施すると共に、エゾシカ肉の地域消費の向上と供給の拡大を図るため、エゾシカ肉の安全な生産体制の確保・有効活用の検討・エゾシカ肉供給に係る情報提供等の取組みを推進する。</p> <p>(事業) ボランティアハンター登録活用モデル事業の実施、有効活用地域意見交換会の開催</p>	<p>1,402</p> <p>(21:1,869)</p>	<p>継続 (H20～22)</p> <p>環境生活課 地域政策課</p>
魅力ある「くしろブランド」創造事業	<p>(目的) 釧路地域の自然環境や農水産物などの豊かな地域資源を魅力ある「地域ブランド」に育てるため、地域住民や産業界など誰もが共感するブランドコンセプトについてコンセンサス形成を図るとともに、戦略的かつ効果的にブランドコンセプトを国内外に発信することにより、魅力ある「くしろブランド」を創造する。</p> <p>また、「くしろブランド」の創造に資する商品の開発を促進するため、代表的な地域資源を活用した付加価値の高い商品・サービスの開発を支援するとともに、「くしろブランド」を維持管理していくための手法や組織体制を検討し、中長期的に戦略的ブランド創造活動を推進する。</p> <p>(事業) 「くしろブランド」ブランドセミナーの開催、「くしろブランド」創造検討委員会の開催</p>	<p>1,546</p> <p>(21:1,733)</p>	<p>継続 (H21～23)</p> <p>商工労働観光課</p>
くしろ自然循環型酪農推進事業	<p>(目的) 生産資材の高騰など厳しい経営環境に対応するため、土・草・牛の自然循環機能を基本に、自給飼料に立脚した酪農である「自然循環型酪農」を進め経営体質の強化に努めるとともに、地域住民にその取組への理解を深め、活力あふれる地域づくりに資する。</p> <p>(事業) 放牧・自給飼料生産体制に関する研究会の開催、産地学習会等の開催、農村環境の保全実態調査の実施</p>	<p>358</p> <p>(21: 701)</p>	<p>継続 (H21～23)</p> <p>農務課</p>
釧路地域エコツーリズム形成事業	<p>(目的) 釧路地域のラムサール登録湿地など優れた自然環境を背景にした「エコツーリズム」を地域の新たな「観光ブランド」として推進し、広域的な「エコツーリズムゾーン」の形成を進めるため、地域での機運醸成や推進体制の構築支援などに取り組む。</p> <p>(事業) エコツーリズム推進意見交換会の開催、エコツーリズム応援隊の結成、ガイドブックの作成、エコツーリズム見本市の開催、エコツーリズムのPRの実施</p>	<p>1,202</p> <p>(21:1,769)</p>	<p>継続 (H21～23)</p> <p>商工労働観光課</p>
自然の番人による環境行動促進事業	<p>(目的) 釧路・根室地域では他地域に先駆け「自然の番人宣言」が行われ、湿原をはじめとする貴重な自然環境を守り、次世代に引き継いでいく取組が地域の住民・企業により自主的に行われていることから、地域住民・企業と連携・協力して地球温暖化防止対策や釧路地域における様々な取組を総合的かつ相互に紹介、発信するシンポジウム等を開催し、地域全体への環境行動の定着や拡大を図る。</p> <p>(事業) 釧路両支庁合同検討会の開催、シンポジウムの開催、自然の番人展の開催、メーリングリスト等による情報提供</p>	<p>1,088</p>	<p>新規 (H22～24)</p> <p>環境生活課</p>
合計	5事業(新規1、継続4)	5,596	H21予算額 6,497